

平成25年度くすのき賞

5月15日、津山市文化連盟が地域の文化・芸術活動に活躍する個人や団体に贈る、平成25年度「くすのき賞」が大島良子さん(弥生町)と寺坂広子さん(新野東)に贈呈されました。

大島さんは、胎児や乳幼児期の聴く力が成長に大きな影響を及ぼすことから、子育て世代などに童謡唱歌を広める会「童謡ひろば～うたわらべ～」を主宰し、ミニコンサートなどを開催しています。



大島良子さん



寺坂広子さん

寺坂さんは、独学で短歌を学び、長年、公民館の短歌会を中心に活動し、歌集などを発刊しています。また、旧勝北町の町歌やPR音頭などを作詞するなど、幅広く文化の普及に取り組んでいます。



上手に読めたかな？

楽しく読もう！ファミリー音読発表会

5月11日、市立図書館で、子どもたちに本に親しんでもらおうと行われた音読大会に15組40人の親子や兄弟が参加しました。

参加者は、『ぐりとぐら』や『めっきらもっきらどおんどん』など、5冊の課題図書から好きな本を選び、練習してきた成果を発表しました。

参加者は、呼吸を合わせて、表現力豊かに大きな声で朗読していき、発表が終わるたびに、会場からは、温かい拍手が送られていました。

第58回全日本銃剣道優勝大会 【防衛省第2部】優勝 陸上自衛隊日本原駐屯地チーム



4月に日本武道館で行われた「第58回全日本銃剣道優勝大会【防衛省第2部】」で日本原駐屯地チームが11連覇を果たしました。

主将の上田啓二さん(東一宮)は「11連覇ができ、先輩たちが培ってきた伝統を守ることができ、ほっとしています。これからは訓練を重ね、連覇記録を延ばしていきたい」と、喜びと抱負を語りました。



初夏の山村を味わい、楽しむ

第43回阿波ふるさとまつり

5月18日、阿波ふるさとふれあい会館をメイン会場に、第43回阿波ふるさとまつりが行われました。市内外から訪れたたくさんの人たちは、ひらめの塩焼きなど阿波の手作り加工品を販売するテント村や、歌謡ショーなどを楽しみました。

また、阿波森林公園では「魚のつかみ取り」が行われ、「あっちに逃げた」「やった～。捕まえた～」など、必死で魚を追う子どもたちの一喜一憂する声が、山裾に響いていました。

ソシオのフリーマーケット・にぎわい市

5月18日 ソシオ一番街・アルネ・津山東広場



家庭で不用になった服や日用品などを販売するため約60店が出店したフリーマーケット。来場者は、商品を手に入れた店主との値段交渉を楽しんでいました。

津山は鉄道遺産がたくさん

旧津山扇形機関車庫一般公開、みまさかスローライフ列車



旧津山扇形機関車庫一般公開



みまさかスローライフ列車

5月3日～6日、JR津山駅にある旧津山扇形機関車庫の一般公開が行われ、多くの家族連れや鉄道ファンが集まりました。

今回、扇形機関車庫では、転車台にディーゼル機関車を乗せて転車実演を行うなど、新しい試みも行われ、見学者の関心を集めていました。広島県から訪れた島稜生さん(小学3年生)は「転車台の実演は迫力があって楽しかった。また来たいです」と息を弾ませて話してくれました。

5月10日・11日、JR因美線でみまさかスローライフ列車の運行が行われ、乗客たちは五月晴れの車窓を楽しみ、手打ちそばなどの地域住民のもてなしに長い列ができていました。

本物を目にし、興味深々

江戸一目図屏風の実物展示

4月5日～5月6日、津山藩のお抱え絵師・鍛形憲斎が、江戸のまちを鳥瞰的に描いた「江戸一目図屏風」の実物展示が津山郷土博物館で行われ、約1,400人の見学者が訪れました。

遠足で訪れた林田小学校6年生51人は、博物館の学芸員から「屏風に描かれた人びとの姿から江戸時代の生活の様子が分かります」など、屏風の成り立ちなどの説明を受けました。児童たちは、江戸の町の様子に興味深く見入っていました。



年に1度の搭乗体験

道の駅・久米の里仙人まつり

4月27日、道の駅・久米の里で仙人まつりが開催され、県内外から訪れた多くの人でにぎわいました。

このまつりの一番の呼び物は、全長7メートルのモビルスーツの体験搭乗です。搭乗口には親子連れやアニメファンなどが長い列を作りました。

静岡県から訪れた近藤直人さんは「モビルスーツを見るためにやって来ました。体験搭乗ができて、とてもラッキーです。帰ったら友人にも教えたい」とうれしそうに話してくれました。

